



漢文教材開発を通じた哲学対話教育

会読という哲学対話 一古くて新しい読書会の作り方

令和6年

12月7日(土)
13:30~15:30

中・高・大学と対話的な学びを掲げながら、教室に「対話」はない。その要因は、「対話」が、合意形成を目指す過程であるという認識が、指導者にも、学習者にも欠けていること、学習者から「真正の問い」を引き出すには、それを内包するテキストを選ぶことが必須だが、実際には行われていないこと、そして、OECDが、学びの羅針盤で中心概念に据える「スチューデントエイジェンシー」の獲得に、対話がどのような効果を持つのかAARとの関連性に於いて、その効果を明確にしたデータと解析が乏しいことが挙げられる。これらの課題を漢文を哲学資源として捉え直し、p4cの手法に学んで実践的に解決するための具体的実践研事例や効果検証を通じて、対話的な学びの有効性を明らかにします。



小路口 真理美

大阪教育大学 多文化教育系 特任教授

専門は、教科教育学・初等中等教育学・漢文教育。哲学資源としての漢文教材及び学び方の開発等について実践的に研究している。



太田 亨

広島大学, 人間社会科学部研究科准教授

専門は、中国文学・日本漢文学・五山文学。漢文教育にも造詣が深く、高校教科書の漢文教材について、教材研究・考察の視点を発信している



中川 雅道

神戸大学 附属中等教育学校教諭

専門は、哲学、倫理学、子どものための哲学 (p4c) 哲学プラクティス。子どものための哲学 (p4c) という方法を用いて、国語科、道徳で主体的・対話的・深い学びを、実践している。



仲矢 史雄

大阪教育大学 理数情報教育系教授

専門は、科学教育。教育分野でのICT活用を実現する教材や機器を研究開発等している

スケジュール

- 13:30~ 趣旨説明 (小路口 真理美)
- 13:40~ 事例発表等
 - ①中川 雅道 ②太田 亨
 - ③小路口 真理美
- 14:40~ 4人の教員によるパネルディスカッション
(コーディネータ: 小路口 真理美)
- 15:15~ 質疑応答
- 15:25~ まとめ

対象・定員等

教育委員会関係者・学校関係者
その他(教職志望大学生)の方
(参加形式: 対面のみ 定員: 40名)

会場・アクセス

大阪教育大学 天王寺キャンパス
みらい教育共創館 5階

JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、約650m
JR寺田町駅下車、約400m



申込方法

以下のURLもしくは上のQRコードより、
申込みフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/ZgLh4iXMQyRDpy736>



申込
期限

12月4日(水)まで

【お問い合わせ先】
大阪教育大学 みらい教育共創館事務室
Mail: mirai.bur.osaka-kyoiku.ac.jp